

高石市議会議員 山敷めぐみ 議員活動報告 ～子どもの幸せが広がるまちへ～

めぐみ通信

Vol. 15

2014(H26)年10月



減り続ける年少（0歳～14歳）人口（平成25年度決算審査より）

	総人口	0歳～14歳
平成25年	59,047人	8,501人
平成26年	58,576人	8,205人
減少率	-0.8%	-3.5%

目次	
P.2	子ども・子育てニーズ調査より
P.3	9月議会トピックス（健康ポイントなど）
P.4	決算認定反対理由、お知らせなど

←各年度4月1日現在の人口。高石市ウェブサイト統計のページより抜粋

高石市は昨年度1年間で、子どもの人数が3.5%も減少しています。総人口の減少率に比べ、子ども世代の減少が目立ちます。堺市も和泉市も子ども人口は減少していますが、それぞれ1.3%と1.9%の減少率ですので、高石市は堺市の2.7倍、和泉市の約1.8倍の減少率となっています。

平成25年度末は保護者の反対の声も聞かず、羽衣幼稚園の廃園、羽衣保育所の廃止・民営化が相次いで実施されました。現在、羽衣幼稚園跡地では桜の木も伐られてしまい、園庭には雑草が寂しく風に揺れています。前年度に廃止された高石幼稚園跡地は教育財産から普通財産に切替えられました。

また、乳幼児医療費の助成も堺市は中学校卒業までで、高石市はようやく今年の7月から通院時は小学校3年生までになりましたが、やはり堺市との差は大きいと言えます。9月議会では私も含め、多くの議員から助成拡充の要望が出されました。

高石市は平成23年に策定した第4次総合計画で「平成32年には人口を62,000人にする」と言っています。しかし、子育て世代に魅力を感じてもらえる市にならないければ、人口増は望めないと思います。国の施策として来年度から始まる「子ども・子育て新制度」。少しでも高石市オリジナルの制度にして魅力アップを目指して欲しかったのですが…。子育て世代へのニーズ調査（アンケート）結果と共に、詳細は次のページをご覧ください！

今回の補正予算で、国から「がんばる地域交付金」として5,424万円が交付されました。これは市内の老人福祉センター3か所に設置するヘルストロン15台の購入と、ボイラー等の施設改修に使われます。

老人福祉センターでは市内にお住まいの60歳以上の方はどなたでも、月曜日から金曜日までの午後1時から4時に無料で入浴ができます。また、日によって健康相談や健康体操も行われています。介護予防の観点からも重要な施設だと思いますので、是非ご利用頂けたらと思います。

第3次高石市地域福祉計画には、センターを利用しての地域交流が謳われていることから、山敷は「入浴サービスは乳幼児連れで週に1回でも利用出来るようにしてほしい」と以前の議会でも要望しましたが「難しい」との答弁でした。何とか前向きに検討して頂きたいと思います。

子ども・子育てニーズ調査について(結果詳細は市のウェブサイトに掲載)

この調査は平成25年12月に実施されました。市内の未就学児のいる全2,498世帯(回答:912世帯)及び各小学校各学年1クラス1,320世帯(回答:1,107世帯)に配布されたものです(小学校を通じて配布・回収をした分、小学生世帯の回答率が高くなっています)。ニーズ調査、と言いながら高石市で以前より課題の「公立幼稚園での3年保育・預かり保育を希望しますか」という調査項目がなく、数字が出ていないのは残念です。市としての見解を訊くと「3歳児のニーズは満たされている」。つまり、私立幼稚園に通うことで人数的なニーズは満たされている、ということのようですが、公立で3歳児保育があれば公立に通わせなかった、というアンケート記述が多数ありました。

平成27年度公立幼稚園の園児募集のお知らせを見ると、平成28年度からの公立幼稚園の保育料は応能負担(世帯の収入によって負担額が変わる制度)になる予定だと書いてあります。現在は一律8,500円の保育料が最高で25,700円になるそうです。あくまでも予定である、と市は説明しますが、このように値上げを予定しているのに保育年齢(4・5歳のみ)や保育時間(最長でも14:30まで)が現状のままで良いはずはありません。具体的にどうしようと考えているのか。質問しても明確な答えはなく、子ども人口が減るのも無理からぬこと、と本当に残念に思いました。山敷は9月議会で「保育内容が変わらないなら、再来年度からも保育料は現状のまま8,500円で据え置くべき」と主張しました。

自由記述欄では？

未就学児・小学生両方の保護者の声で一番多かったのは「通院の乳幼児医療費助成の堺市並み(中学校卒業まで)の拡充を！」というものでした。中には「子どもが病気になっても治療費が気になり受診しにくい」という声も複数あり、一刻も早い拡充が必要だと感じました。

次に多かったのが「遊び場所」の確保について。小学生の保護者は、ボール遊びが気兼ねなくできる公園や雨の日も遊べる場所を、未就学児は、安心して遊ばせられる清潔な公園や児童館などの、いつでも行けて他の保護者と交流できる場所を求める声が多数ありました。小学校の校庭の開放についても希望する声が多く、教育委員会に確認すると小学校によって対応が違うということでした(下表参照)。

全校で、全学年・毎日・下校後でも来ても良いというように、シルバーさんの活用も視野に子ども目線で考えて頂きたいと要望しました。

また「児童館を整備することで子育て世代へのアピール力は大いに高まる。廃止された幼稚園・保育所・公民館など、空いている場所を有効に利用すれば良いのでは？」と提案しました。実現に向け検討して頂けることを期待したいと思います。

小学校 放課後開放

学校名	開放場所	学年	日	時間	備考
高石小学校	運動場	4~6年生	月~金	~16:30	1~2年生は、安全面も考慮し、一斉下校のため
		3年生	木		
羽衣小学校	運動場	全学年	火・木・金	~16:30	月・水は、会議のため
高陽小学校	運動場	全学年	月~金	3月~10月	~16:45
				11月~2月	~16:30
取石小学校	運動場	2~6年生	月~金	~16:30	1年生は、一斉下校のため
東羽衣小学校	運動場	4~6年生	月~金	~16:30	1~3年生は、安全面も考慮し、一斉下校のため
清高小学校	運動場	全学年(学級単位)	月~金	~16:30	担任が必ずついて遊ぶ
		課外サッカー	週1		
加茂小学校	運動場	全学年	月~金	~16:30	

9 月議会トピック

9月議会では市長提出議案1号～22号の中で、議案2号と7号に修正案を提出し、13号と22号に反対しました。以下に詳細を説明します。

議案2号は、子ども・子育て支援法関連の“家庭的保育事業の運営基準などを定める条例”ですが、呆れたことに条文は「法律に基づき基準を定める」「(高石市の基準は)省令に定めるところによる」だけです。つまり、条例を見ても中身はさっぱり分からず、市民が内容を知るためには法律や省令を探さなければなりません。なんという手抜きか、と思います。(ちなみに、議案1号・3号も同様の条例案でした)。

このままだと当然、保育の基準は**国の決めた最低基準**となります。それでは不十分だと考え、子ども達の育つ環境を守るためにも保育士資格を有した方に国基準より多く携わってもらえるよう修正案を提出しましたが、賛成少数で否決。原案が可決となりました。

議案7号は平成26年度の補正予算です。これには、到底容認することのできない「**健康ポイント導入予算**」として150万円が計上されていました。国の“**実証実験**”に参加するようです。

提案された内容は、健康に関する個人情報を民間会社((株)つくばウェルネスリサーチ、以下TWR)に送ることによって、市民は最大で2万2千円(当初3年間は国の予算から)を取得できる、というものです(予算委員会資料による)。TWRは健康ポイント制度を「**参加者の健康データを取得し続けるサービスの仕掛け**」と説明しています。

健康情報は民間会社が最も欲しがるといえる情報のひとつです。本人が了承しているから問題はない、と市は言いますが、そんな方向にお金を使って市民を誘導するのは間違っています。以前より何度も「めぐみ通信」で指摘している「健康クラウド」もTWRが運用しています。このクラウドは高石市の国保加入者の情報が本人の了承を得ることなく勝手に送られているもので、匿名化しているとは言えるものの、小学校区や生年月・性別・病歴・通院歴・介護情報・健診情報が関連付けられているので、私には完全な匿名化だとは思えません。

そんな会社に、「名前も入った健診結果」をコピーして自分で送れば1,000円、万歩計の情報を端末に読み取らせて送れば歩数により月に最大800円、TWRの支援を受けている健康教室に参加すれば1,000円、などとお金で誘導し、個人情報を企業に提供するように仕向けることは断じて容認できない、と予算を削除する修正案を提出しましたが、賛成少数により原案が可決。これにより年内にも健康ポイント制度は始まるようです。**市民の皆様には十分に注意をして頂きたいと思います。**

議案13号 平成25年度決算認定の反対の理由は以下の通りです

- 1、「広報たかいし」が全戸配布されていない。市内全戸配布は発行規則に定めているにも関わらず自治会加入世帯のみ、という状況が続いている。指摘し始めてから3年も経っているのに善処されない。しかも印刷部数がそもそも全戸分に足りていないことが質疑の中で明らかに。いずれも規則に矛盾する。

(次ページに続く…)

2、ブランド戦略、とって突然「天女の住まうまち」などという設定により市民の合意や文献などの根拠もなくグッズ製作されたり、天女の衣装を着た人をイベントに参加させたりした。シーサイドフェスティバル(花火)に1000万円もの税金を投入したにも関わらず費用対効果について納得できる説明がない。

3、SWC(スマートウェルネスシティ)計画の健康クラウドへ国保加入市民の健診情報・医療情報・介護情報などを匿名化しているとはいえ無断で送り、成果は明らかではない。

4、ゴミの有料シールが約2320万円の売り上げだった。ということは市民に負担を強いているということ。かたや余ったシールは60万枚。負担が偏りすぎている。根本的に見直しを!

5、せせらぎの維持費に約260万円も税金が投入された。ポンプの故障などもあったということだが、無駄な税金の使い道だったのでは?

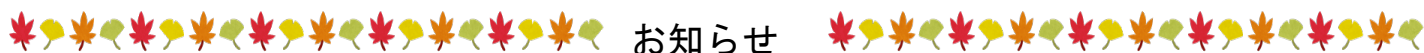
…以上が反対の主な理由です。

議案22号は、現在鴨公園に建設中の「総合体育館」(防災体育館)について、コナミスポーツ&ライフ・近鉄ビルサービスを指定管理者として指定する、という議案です。

しかし、防災体育館は災害時に要援護者の避難所になったり、かまどベンチやマンホールトイレなども備え避難者の生活を支えたりする場所です。市が直接管理し、責任を負うべきだ、と考えます。

委託料年間4800万円、5年分の債務負担行為2億4000万円も、**議案7号**の修正案で削除しましたが、いずれの議案も原案可決となってしまいました。

災害時に十分に対応できる体制を確立するよう、今後も注視することが必要だと思います。



お知らせ

伽羅橋駅を降りてすぐ(改札出て北側から、西に向かったところ)に山敷めぐみ事務所があります。

10月から月に2回、定期的にオープンします。毎月第2・第4火曜日の午前10時~午後3時にスタッフが常駐しています。私も出来るだけ在室する予定です。

子育て・教育分野、その他ご相談やご質問などがありましたら、お気軽にお越しください。議会開催中などはスタッフも傍聴等で留守にしますので、来られる際にはお電話かメールでご確認を頂きますよう、宜しくお願い致します。



クリア高石 第13回議会報告会

◆11月1日(土)午前10時~パンセ羽衣3階
(羽衣公民館)

◆11月8日(土)午後6時~とろしプラザ3階
(取石公民館)【予定】

どうぞお越しください

発行：山敷めぐみ

事務所：高石市羽衣5-14-13
072-262-3979
yam4-meg3@ezweb.ne.jp

WEBサイトもご覧ください

<http://yamashikimegumi.c>